

情報通信審議会 情報通信技術分科会

電波利用環境委員会 CISPR I 作業班(第9回)議事要旨(案)

日 時：平成 30 年 8 月 6 日(月) 13:00~15:00

場 所：TKP 麹町駅前会議室 8A 会議室

出席者(敬称略)：

(主任) 雨宮 不二雄 NTT アドバンステクノロジー(株) グローバル事業本部環境 ビジネスユニット EMC センタ
 (主任代理) 堀 和行 ソニー(株)品質・環境部プロダクトコンプライアンスグループ チーフEMC/RF コンプライアンスマネジャー
 (構成員) 秋山 佳春 日本電信電話(株)NTT ネットワーク基盤技術研究所 環境基盤プロジェクト マネージャ
 今村 浩一郎 日本放送協会 放送技術研究所 伝送システム研究部
 大西 輝夫 (株)NTT ドコモ先進技術研究所 主任研究員
 長部 邦廣 (一財)VCCI 協会 技術アドバイザー
 橋高 大造 (一社)電波産業会 研究開発本部 電磁環境グループ
 幸島 徹 (一財)テレコムエンジニアリングセンター 試験評価部 部長
 塩山 雅昭 (株)TBS ラジオ メディア推進局 技術部 部次長 送信所長
 千代島 敏夫 PFU テクノコンサル(株)認証センター EMC 統括主任技術者
 長倉 隆志 (一社)電子情報技術産業協会 マルチメディア EMC 専門委員会 委員
 中村 和則 パナソニック SN エバリュエーションテクノロジー(株) 部長
 乗本 直樹 (一社)KEC 関西電子工業振興センター 技師
 廣瀬 一郎 (一社)電子情報技術産業協会マルチメディア EMC 専門委員会 WG2 委員
 福池 一 (一財)電波技術協会
 星野 拓哉 (一社) 情報通信ネットワーク産業協会
 牧本 和之 (一財)日本品質保証機構 北関西試験センター 彩都電磁環境試験所 主査
 (関係者) 島先 敏貴 (一財)VCCI 協会
 (事務局) 谷口 智哉 総務省 総合通信基盤局 電波部 電波環境課 電磁監視官
 戸部 絢一郎 総務省 総合通信基盤局 電波部 電波環境課 電磁障害係長

【配布資料】

資料 9-1 CISPR I 作業班(第8回)議事要旨(案)
 資料 9-2-1 電波利用環境委員会報告概要(案)(I 小委員会関連)
 資料 9-2-2 電波利用環境委員会報告(案)(I 小委員会関連)
 資料 9-3 CISPR 釜山会議 I 小委員会 全体会議 対処方針(案)
 資料 9-4 CISPR 釜山会議 I 小委員会 MT7 対処方針(案)
 資料 9-5 CISPR 釜山会議 I 小委員会 MT8 対処方針(案)
 資料 9-6 CISPR 釜山会議 I 小委員会 MT9 対処方針(案)
 資料 9-7 CISPR 釜山会議 A/I-Joint AHG6 対処方針(案)

- 資料 9-8-1 電波利用環境委員会報告概要(案) (CISPR 35 関連)
- 資料 9-8-2 電波利用環境委員会報告(案) (CISPR 35 関連)
- 参考資料 9-1 CISPR A xxx-DC CISPR 16-1-4 cable terminations CISPR AHG6(AI) 18-03
- 参考資料 9-2 CISPR A xxx-DC CISPR 16-2-3 use of cable terminations CISPR AHG6(AI) 18-04
- 参考資料 9-3 CISPR A I Joint-AHG Osabe Shimasaki 18-05 07.25
- 参考資料 9-4 CISPR A I Joint-AHG Osabe Shimasaki 18-06 07.25
- 参考資料 9-5 CISPR I 作業班 構成員名簿

議事概要

(1) 前回議事要旨(案)について

- 資料 9-1 「前回議事要旨(案)」についての説明がされた。修正意見等あれば 1 週間以内に事務局へ連絡し、修正については主任に一任することが了承された。

(2) CISPR 釜山会議 対処方針(案)について

<資料説明>

- 資料 9-3 「CISPR/I 総会 釜山会議の対処方針案」について、雨宮主任から説明があった。主な点は以下のとおり。
 - CISPR/I プロジェクトで現在進行中の検討状況及び今後の予定について、確認を行う
 - MT9 (CISPR 29 のメンテナンス) の設立について、確認を行う
 - 3 件の CDV (CIS/I/584/CDV、CIS/I/585/CDV、CIS/I/586/CDV) に対する各国 NC の投票結果について、確認を行う

<質疑等>

- 資料 9-3 の「6 CISPR/I プロジェクトのレビュー」我が国の対処方針(3)②イについて、「修正あるいは改定に向けて CISPR CAG での対処方針に基づいて対応する」との記載があるが、I 作業班として望ましいと考える方向性はあるか(事務局)
 - CISPR 32 では、Fragment 1 で伝導を含めて除外するという方向になっているため、放射に限定して欲しくない(堀主任代理)
 - (上記記載箇所に関連し、)CISPR CAG は公的に設置されているものではなく、言葉として適切ではないのでは(事務局)
 - ◇ 現状の書き方としては、このような記載しか無いのではないかと(雨宮主任)
- 資料 9-3 の「7.2 MT8 からの報告」我が国の対処方針(2)①について、「CISPR/F 議長と CISPR/I 議長の協議に基づくエンターテイメント機器の所掌分担の合意について、報告を聞き内容を確認する」との記載があるが、AC 文書(CIS/I/590/AC)が出ているため、内容は直していく必要がある(堀主任代理)
 - 日本は幹事国なので、何方も手を挙げないようであれば私が対応する(雨宮主任)
- 資料 9-3 の「8 安定期間の確認」審議内容(2)について、「PAS 62825 : 2018 年での廃止が合意されている」との記載があるが、正しいか(廣瀬)
 - 2018 年廃止ではなく 2019 年廃止であると考えられ、直す必要がある(雨宮主任)
- 資料 9-3 の「11 その他の事項」について、「SC-I から CISPR/S に提起した、CISPR 16-4-2 に基づく適合性評価の完全適用を IEC/SMB に問い合わせるか否か」との記載があるが、前回検討の結果、こちらは問い合わせないことになったのではないかと(千代島)
 - ご指摘の通りであり、「問い合わせないことを確認する」との趣旨である(雨宮主任)
- CISPR 16-4-2 に基づく適合性評価の完全適用については、具体的にはどのように対応するのか(事務局)
 - 現在、同意するとの趣旨で審議文書を作成しており、そこから先の対応については引き続き議

論となる(長部)

- 要は、EUT が許容値に適合しているか否かの判断を MIU で実施できるか、といった議論である。EUT のセットアップ条件等を考慮する必要があるため難しいのでは(雨宮主任)

(2-2) CISPR I 小委員会 MT7 釜山会議対処方針案

<資料説明>

- 資料 9-4 「CISPR I 小委員会 MT7 釜山会議対処方針案」について、千代島構成員から説明があった。主な点は以下のとおり。
 - ミラノ会議のアクションアイテムの進捗について確認を行う
 - 各 CDV 文書について、我が国のコメントについて必要に応じて説明する他、他国コメントについても適宜コメントを行なう

<質疑等>

- 資料 9-4 の「4.3 CDV 化されなかった CD」について、文書番号の誤りが生じているため修正願いたい(堀主任代理)
- Fragment 5(WPT)については、CISPR/H と CISPR/I の JWG 作成に向けた動きが両議長により水面下で進められており、早期立上に向けて MT7 から関係者を適宜促して頂きたい(雨宮主任)
 - CISPR/H は 6 月にベルリンで開催され、何かしらのフィードバックが返ってくるものと思っていたが、それが無く、JWG を作るという話になった。このままだと Fragment 5 は遅れてしまうので、早く JWG を作り議論を進めていく必要がある(堀主任代理)
 - CISPR/F では WPT 関連で CDV 文書が作られそうな雰囲気である。JWG で引き続き検討が必要になるのは WPT のうち CISPR/I に限定した部分か、或いは CISPR/F を含めた WPT 全体か(事務局)
 - ◇ CISPR/I に限定した部分である。変更を要する限度値が決まっていないため、もう一度 CD 文書を作成する必要がある(秋山)
 - ◇ WPT は電波利用環境委員会の重点審議事項として位置付けられており、関心が高い。CISPR/I で更なる検討が必要であれば、CISPR/F もストップさせるような動きが必要では(事務局)
 - 現状は CISPR/I と CISPR/F の間で上手く連携が取れておらず、従って個別の課題に留まっているとの認識である(秋山)

(2-3) CISPR I 小委員会 MT8 釜山会議対処方針案

<資料説明>

- 資料 9-5 「CISPR I 小委員会 MT8 釜山会議対処方針案」について、牧本構成員から説明があった。主な点は以下のとおり。
 - ミラノ会議で示された RVN 文書のメンテナンス項目が正しく反映されているか確認する
 - 日本の奇書 2 件を TC77 と ACEC に報告した結果を確認する

<質疑等>

- 資料 9-3 の「4.11 Aftermarket equipment, for motor vehicles」エキスパートメンバーの対応に

について、「EN 50498 の aftermarket electronic equipment in vehicles が CISPR I のスコープ内であるか確認する」とあるが、これはどういう状況か(事務局)

➤ EN 50498 は主に車載機器に係る規格で、欧州は CISPR 32 や 35 を適合する形で運用している。その考え方について、委員内で確認を行なうものである(牧本)

◇ CISPR としてはどう返すのか(事務局)

- 報告内容次第と考えており、欧州側は「CISPR/I のスコープなので CISPR 35 に入れろ」となるのか、或いは「国内マターなので自由にさせるべき」と主張するのは不明である(雨宮主任)

◇ CISPR/I としての回答としてはどうなるのか(事務局)

- AC6_S の方では、アフターマーケット機器でも、例えば車両に搭載するカーオーディオ機器となると CISPR 35 の範疇であるとの話だが、それに特化した試験方法は議論されていない。ドキュメントとして正式なものが無いため、その文書の適切性も含めて議論されることになる(牧本)

➤ EN 50498 は、文書番号を踏まえると GENELEC の独自規格であると思われる(堀主任代理)

(2-3) CISPR I 小委員会 MT9 釜山会議対処方針案

<資料説明>

- 資料 9-6 「CISPR I 小委員会 MT9 釜山会議対処方針案」について、雨宮主任から説明があった
 - まだ正式には設立されていないものの、現地で承認されると見込まれている。現地でいきなり対応を行うのも如何なものかと考えられるため、今回対処方針案を作成した(雨宮主任)

<質疑等>

- MT9 の設置が承認されたら、との前提だが、JEITA には照会をかけている。正式に設立された再度照会をかける予定である(廣瀬)
 - 是非そういう方向で動いて欲しい(雨宮主任)
 - 主要テレビメーカーとしては、高精度画像の評価が縛られてしまうため消極的な様子である(廣瀬)
 - ◇ 似たような話として、以前 CISPR 29 で FAX の受信画像の客観評価法について議論された。欧州側からは費用がかかるので止めてほしいという意見が挙がり、挙手による投票の結果、圧倒的多数で否定された。今回も同様の可能性がある(雨宮主任)

(2-3) CISPR A/I Joint AHG6 対処方針案

<資料説明>

- 資料 9-6 「CISPR I CISPR A/I Joint AHG6 対処方針案」について、長部構成員から説明があった。主な点は以下のとおり。
 - CISPR 32 の第 2 版改訂の Fragment 4 にあたるケーブルの終端状況に関連する AHG として、ウラジオストク会議で形成され、ミラノ会議から具体的な議論が始まっている
 - DC 文書を発行の上、終端条件に関する内容を CISPR 16-14 と 16-2-3 に入れ込むべく、AHG で議論を進めている

<質疑等>

- 開催期間が半日から一日に延びたようだが、前回のウラジオストックのように時間切れの心配は無い
か(雨宮主任)
 - DC 文書のコメントを踏まえた CD 文書化への議論に加え、ラウンドロビンでも様々な議論がある
と思うが、今回は時間切れの心配は無いと考えている(長部)
 - 何かコメントがあればメールで頂ければ幸い(長部)

(3)電波利用環境委員会 報告書(案)について

<資料説明>

- 資料 9-2-1「電波利用環境委員会報告概要(案)(I 小委員会関連)」及び資料 9-2-2「電波利用環境委
員会報告(案)(I 小委員会関連)」について、雨宮主任から説明があった。主な点は以下のとおり。
 - MT7 及び MT8 で出てきた Fragment 1 の項目と対処方針の基本的な考え方をまとめた

<質疑等>

- エディトリアルな話も含め、コメントがあれば頂きたい(雨宮主任)
 - 特に、資料 9-2-1「電波利用環境委員会報告概要(案)(I 小委員会関連)」2 ページ目の「放射
妨害波測定における測定対象機器の電源ケーブルの終端条件設定」については事前確認の時間
が取れなかったので、コメントがあれば是非お願いしたい(雨宮主任)
 - 電波利用環境委員会が9月中旬に開かれるので、コメントを踏まえた修正等はそれまで受け付
けることが可能である(事務局)

(4)CISPR 釜山会議 参加者(案)について

- 釜山会議の参加者について取りまとめた：
 - プレナリ、MT7、MT8：雨宮主任、堀主任代理、島先構成員、千代島構成員、秋山構成員、廣瀬
構成員、牧本構成員、長部構成員が出席する見込みである
 - ◇ 本日欠席の星野構成員も出席するのでは(雨宮主任代理)
 - MT9：雨宮主任、堀主任代理
 - Joint AHG：雨宮主任、島先構成員、千代島構成員、長部構成員
 - ◇ 本日欠席の星野構成員については確認出来ていないが、一応出席で出しておく(雨宮主任
代理)

(5)CISPR 35 国内規格化について

<資料説明>

- 資料 9-8-1「電波利用環境委員会報告概要(案)(CISPR 35 関連)」及び資料 9-8-2「電波利用環境委
員会報告(案)(CISPR 35 関連)」について、牧本構成員から説明があった。主な点は以下のとおり。
 - CISPR 35「マルチメディア機器の電磁両立性 –イミュニティ要求事項」を国内規格として採
用する場合の技術的諸問題について検討を行った
 - 電波利用環境委員会は、検討の促進を図るために委員会に設置された CISPR I 作業班及びその

下に設けた CISPR 35 第 1 版国内規格化アドホックグループで検討を行った

- 資料 9-8-2 の「3 検討経過」にて、「CISPR 20 と CISPR 24 は、2020 年 8 月 16 日を持って廃止されることが決定しており」とあるが、最新情報では 7 月 31 日になるのではないかとされており、後日修正を行なう

＜質疑等＞

- イミュニティに関する国内規格としては CISPR 24 に次いで 2 回目となる(雨宮主任)
- CISPR 24 のときは 2 時間程度かけて全ページを見ていったため、2 時間程度要したが、今回はどのように実施するのか(雨宮主任代理)
 - 資料をどの程度まとめて頂くかについては、報告者と別途相談したい(事務局)
- 本日から約一週間程度を目処に、見え消し線で加筆修正等のコメントを賜れば幸い(雨宮主任)

(6)その他

- 電波利用環境委員会は 9 月 18 日の開催を予定していること及び作業班の次回会合は事務局から構成員にメールで案内することが事務局から説明された。

以上